

平成28年9月7日

迅速審査について

1. 標準療法不応の進行・再発食道癌に対する新規腫瘍抗原と腫瘍新生血管関連遺伝子由来ペプチドを用いた新規ペプチドワクチン療法－第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験－ (28-207)  
第2外科 田中臨床講師から、研究期間の延長の申請があり、施設訪問監査に際しては、研究代表者または分担者が電子カルテの操作を行うことを条件にこれを承認した。(前回承認番号26-309)
2. 内分泌療法既治療のER陽性・閉経後進行再発乳癌女性を対象にしたフルベストラント500mgレジメンの有用性の検討 (PerSeUS-BC03 試験) (28-208)  
乳腺・分子腫瘍学 二村准教授から、研究期間の延長の申請があり、これを承認した。(前回承認番号25-174)
3. 大腸CTの臨床応用に関する研究 (28-209)  
放射線部 富松講師から、研究期間の延長および研究分担者の一部変更の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-199)
4. 岐阜県下における「糖尿病連携手帳」使用に関する実態調査 (28-210)  
第3内科 武田教授から、研究期間の延長の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-535)
5. Infection control teamによる抗菌薬適正使用推進のための積極的介入効果の評価に関するレトロスペクティブ研究 (28-211)  
薬剤部 丹羽薬剤師から、研究期間の延長の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-240)
6. レトロスペクティブ的手法を用いた3-ヒドロキシ酪酸の有用性検討 (28-216)  
検査部 石田主任臨床検査技師から、研究分担者の追加および研究対象者の追加の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-338)
7. 岐阜県下の透析患者に対するFabry病研究(遺伝子検査) (28-217)  
第2内科 湊口教授から、研究期間の延長の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-367)
8. 切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法の第Ⅱ相試験(JACCRO CC-11) (28-218)  
がん先端医療開発学 松橋特任准教授から、研究期間の延長、研究分担者の一部変更およびプロトコールの改訂の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-103)
9. 自治体における保険事業・介護予防事業の効果、及び評価に関する研究 (28-219)  
看護学科 小林准教授から、研究計画名の変更、研究方法の一部変更、研究実施場所の追加および研究資金の一部変更の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-201)
10. 肺がん開胸手術後の痛みに対するトラマドールの有効性の検討 (28-221)  
麻酔科疼痛治療科 飯田教授から、研究期間の延長の申請があり、これを承認した。(前回承認番号27-265)
11. 高周波熱凝固術の治療評価(後ろ向き観察研究) (28-232)  
麻酔科疼痛治療科 飯田教授から、研究期間の延長および研究分担者の一部削除の申請があり、これを承認した。(前回承認番号26-280)
12. ステロイド投与患者におけるデノスマブとアレンドロネートの無作為割り付け比較試験 (28-233)

総合内科 池田助教から、研究期間の延長および研究分担者の一部変更の申請があり、研究参加施設の倫理審査承認通知書の写しを追って提出することを条件にこれを承認した。  
(前回承認番号 26-192)

13. 多職種連携医療教育の構築と、教育効果の検証 (28-234)  
医学教育開発研究センター 川上助教から、研究分担者の追加、研究対象者の一部変更および研究実施場所の追加の申請があり、これを承認した。  
(前回承認番号 26-150)
14. 手術を受ける乳幼児を持つ保護者の意識調査 (28-235)  
看護部 廣瀬看護部長から、研究対象者の一部変更の申請があり、これを承認した。  
(前回承認番号 28-62)
15. 大量肝切除術前に施行する門脈塞栓術について (28-911)  
放射線科 五島臨床講師から、実施期間の延長および実施分担者の追加の申請があり、これを承認した。  
(前回承認番号 27-915)
16. 耳管開放症に対する、耳管ピン挿入術 (28-912)  
耳鼻咽喉科 久世講師から、実施期間の延長の申請があり、これを承認した。  
(前回承認番号 27-911)
17. squaric acid dibutylester (SADBE), diphenylcyclopropenone (DPCP) による円形脱毛症の局所免疫療法 (28-913)  
皮膚病態学 水谷助教から、申請者の変更および実施代表者の変更の申請があり、特段の事由がない限り、1年ごとの自動更新とし、薬事委員会と連携し、1年ごとに使用状況を報告することを条件として承認した。  
(前回承認番号 24-903)
18. 塩化アルミニウム液による原発性局所多汗症の治療 (28-914)  
皮膚病態学 水谷助教から、申請者の変更および実施代表者の変更の申請があり、特段の事由がない限り、1年ごとの自動更新とし、薬事委員会と連携し、1年ごとに使用状況を報告することを条件として承認した。  
(前回承認番号 24-908)
19. 肺癌症例に対するリスク表を活用した術前呼吸訓練の有用性の検討 (28-915)  
高度先進外科学 白橋助教から、実施期間の延長の申請があり、これを承認した。  
(前回承認番号 27-912)